

記憶・反省・未来のために…

生かそう憲法九条



憲法集会後行進

2026 憲法大集会

つながろう

憲法いかにして平和な世界を

スローガン

私たちは

○改憲発議を許さず、憲法をいかにし、平和・いのち・くらし・人権を守ります。

○世界の平和を脅かすロシアやアメリカ、イスラエルによる他国への武力攻撃を許さず、日本政府に憲法9条をいかにした平和外交を求めます。

○東北アジアの平和を求め、ミャンマーや朝鮮半島の安定と平和を求めます。

○「台湾有事」の扇動による基地機能強化、日米軍事一体化を許さず、敵基地攻撃能力の保有やミサイル基地配備の撤回を求めます。

○平和主義をつらぬき、核兵器のない世界をめざします。

○辺野古新基地建設に反対し、米兵による性暴力を許さず、日米地位協定の抜本的改定を求めます。

○原発推進政策による原発再稼働・新增設を許さず、再生可能エネルギーへの転換を求めます。

○ジェンダー平等の実現、選択的夫婦別姓の法制化を求めるとともに、外国人差別排斥を許さず、日本政府が進めようとする「スパイ防止法」等に反対し、すべての個人の尊厳を大切に作る社会をめざします。

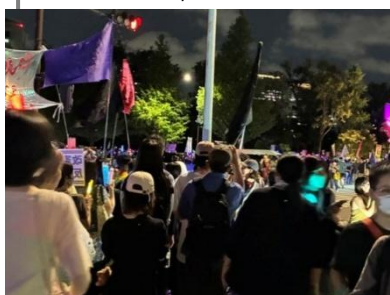
これらの実現のため、共同の輪をひろげ、金権腐敗政治の自民党中心の政治構造転換をめざし、だれもが安心してくらせる社会を希求します。



5.3 憲法大集会
参加 58,000 人 (有明防災公園)

●今重要です!
憲法9条改悪に反対する請願署名、
周りの方におすすめてください!

国会前アクション(WWOF)
7.10 参加 27,000 人



職場九条の会街宣行動
御茶ノ水駅頭 5.23



国民平和行進 5.6

田中隆弁護士講演会

「いま憲法審査会はどうなっているか」を聴く
審査会に法制局より、イメージ案登場！
憲法審査会の暴走をゆるさないため、
注意と関心を！

6 月 20 日、第 205 回市民憲法講座で田中隆弁護士の講演を聴く機会がありました。概要のみご報告します。（文責：梶原）

今国会では、衆議院参議院で毎週憲法審査会が開かれています。目が離せない事態が続いています。内容は、翌日の新聞各紙で報道されています。

憲法審査会の傍聴、ネットでの視聴も可能です。また事務局から出される資料・会議録もごらんになれます。毎月 19 日の国会行動はじめ各地で随時「9 条守れ」「改憲反対」の行動があります。情報をキャッチし、お友達を誘って参加しましょう。憲法改悪反対の新署名運動も進んでいます。ご協力をお願いいたします。

改憲手続法登場から 20 年、改憲

を許さなかった力に確信をもってがんばりましょう。

〈講演の概要〉

- ・（1）憲法審査会のこれまでの流れ
- ・改憲手続法（07・5 強行）で改正された国会法により設置
- 中山方式 ①合意で運営 ②改憲案は審査会から ③政局化させないなどを確認
- ・明文改憲の動きにつづく
- 24・10 総選挙 与党過半数割れ、改憲派 3 分の 2 に届かず
- 25・1 参院選 与党過半数割れ、改憲派 3 分の 2 超え
- 26・2 総選挙 自民大勝、中道（立民・公明）惨敗、自民 3 分の 2 超、改憲派 4 分の 3 超
- 26・4 自民党大会「時は来た、来年の党大会までにメドを」高市首相

（2）国会議員任期延長改憲、緊急事態条項（イメージ）案出る

・緊急事態で選挙ができないときの対応など

・26・衆議院審査会でイメージ（案）登場

総選挙延期などにかかわるもの、困難事態の期間、選挙期日、議員任期など、イメージ（案）が投げかけるものは様々ある

（3）憲法審査会にかかわる諸問題・従来から問題になっていたもの

- ①9 条改憲（本丸）、緊急政令・財産処分
- ②参議院「合区」解消問題
- ③改憲手続法・国民投票手続き最低投票率の規定なし、公務員・教育者の投票運動規制、有料広告

《憲法審査会最新ニュース》

与党の国会運営に対して野党が反発を強める中、7 月 1 日の参議院憲法審査会、つづいて 2 日の衆議院憲法審査会の開催が見送られた。条文起草委員会設置は見通せない状況である。

《事務局から》

- ・高市首相、本年末に「安保 3 文書改定」ねらう これは「日本の総合的国力を徹底的に強くする」というもので、武器輸出、長距離ミサイルの向上、国家情報戦略策定、をはじめ「戦争国家づくり」の動きがいつそう強まっている。
- ・「国旗損壊処罰法案」衆議院内閣委員会で採決
- ・19 日行動、いっそう重要に
- 毎月 19 日国会周辺
- 毎月 3 日（通常 13 時）は国会正門前で集会「憲法改悪ゆるすな」スタンディング
- ・辺野古沖の事故をめぐる文科省は高校が行っていた研修の内容が教育基本法に反すると認定
- それに対して、朝日、毎日の全国紙とともに、琉球新報、沖縄タイムス、京都新聞、熊本日日、信濃毎日、北海道新聞、東京新聞、神戸新聞、西日本新聞など地方紙が一斉に政治権力の教育内容に介入する危険を訴える社説を出した。
- ・成立した「国家情報会議設置法」について、『世界』7 月号の、小笠原みどり氏「デジタル時代のスパイ拡大法」の記事に注目を。

「憲法茶話会の取り組み」

小濱 福男（出版ユニオン 平和憲法特別委員会 事務局長）

2007年暮れに故大久保徳枝元出版ユニオン委員長の呼びかけで出版情報関連ユニオン平和憲法特別委員会（以下憲法茶話会）は

スタートしました。同年5月に国民投票法が成立し1947年の憲法施行後60年にして、改憲に必要な法的手続きが確立したことを受けて、平和を守り、憲法を守る闘いを出版ユニオンの中から作り出そうという意図からです。憲法という大事なのですが、やや硬いものを、お茶を飲み、お菓子を食べつつ、気楽に話していこうというわけで憲法茶話会と名付けたのです。

自民党の憲法改正草案、特定秘密保護法、集団的自衛権の行使容認の憲法解釈変更、2015年完全保障関連法、共謀罪、秘密保護法などその時々の問題について議論し、これらが憲法を踏み

にじるものとして反対集会やデモに参加し、出版ユニオンの仲間にも参加を呼びかけてきました。

2011年福島原発災害が起これた後、大きな課題としています。原発再稼働反対や労働法制改悪反対など一見憲法とは関係が無いような問題も憲法の精神に反するものとしてとりくんできました。

ロシアのプーチンによってウクライナ侵略が始められ、イスラエルのネタニヤフによるガザに対するジェノサイド、そしてトランプとネタニヤフによるイラン侵略など現下の情勢は国連も国際法も意味をなさない、軍事力で権力者が我が物顔で世界を覆っているのではないのでしょうか。そしてトランプ政権の意を受けて、武器輸出の解禁、非核三原則に見直し、安保

三原則の改訂、国家情報会議の創設そしてスパイ防止法案などの準備を整えて、高市政権は「時は来た」と憲法九条の自衛隊の明記や緊急事態条項（国会議員の任期延長案など）の「改憲」を来年4月までに実現しようとしています。改憲勢力によって自分たちの生活がどのようになるのか、一人ひとりが考え、行動するときが私たちにきていると思います。国会前での集会でも多くの人が憲法改悪に反対して集まっています。私たちがいま声をあげなければ、憲法「改正」は現実のものとなるでしょう。出版ユニオンは改憲阻止のために全ての仲間が立ち上がることを呼びかけます。

**みんなのことはみんなで決める！
小さな幸せ、平和が基本！
拡がるコール。杉並・岸本区長再選**

激戦と報道されましたが、106,487票を獲得。大差で自民党候補などを破り岸本聡子さんが当選。4年間の実績、対話の区政で住民の声を丁寧にくみ取ってき

た実行力が評価されました。（投票日6月28日）

4年前は187票の僅差で、現職の田中良氏を破って初当選。その時、話題になったのが、一人街宣でした。今回は多くの区民が自主的に活動に参加。杉並は良くなった。後戻りはできないと多彩な応援を展開。それに対して自民党候補は従来通りのスタイル。「杉並をアップデート」というスローガンでしたが「ダウングレード」だと逆に指摘されました。1月の総選挙、杉並では中道の吉田はるみさんが落選して自民党の門ひろろさんが当選。高市旋風も懸念されました。しかし、デモを「政治ごっこ遊び」、区政を「ままごと」などと揶揄することへの怒りも拡がりました。「杉並区民は黙っちゃいない」のです。

区政の課題は多くあります。投票率の改善は今後の急務です。岸本区政を前へ。杉並区民は止まりません。（もと講談社・九条の会 荻窪 村田安弘）



5/24 商社九条の会で、

九条の会事務局長 小森陽一さんの講演を聴いて

トランプのイラン攻撃に始まったホルムズ海峡封鎖で、世界は緊張が続いている。アメリカはイラン国内で1万3000以上の目標を攻撃、この軍事作戦で保有ミサイルの3割を使用したと言われる。この戦争により、アメリカ自身が軍事的危機におちいつている状況がだんだんと明らかになってきた。

このようなひりひりする毎日のなか、日本の平和のために大きな力を発揮してきた「九条の会」事務局長小森陽一さんの話を聞く機会があり参加した。テーマは「自衛隊を憲法に書き込んでいいのか。以下かいつまんでご報告する。

九条の会発足からその後、井上ひさしさん、加藤周一さんはじめ文化人が3人ずつ日本中を回り「憲法を守ろう」「九条を守ろう」のブームを起こしたいきさつは私たちのよく知るところだが、はじめにサラッとふれられて、当時の困難な情勢のなか運動が大きく盛り上がり、世論を「九条守れ」

「改憲反対」に大きく変えた歴史を改めて思い起こすことができ、力が湧いてきた。

自民党政権による「自衛隊」への「歯止め」はずし、憲法に自衛隊を書き込む動きは、自衛隊海外派遣容認（1966年）以来、着々と進められてきた。対米武器技術供与の容認（1983年）、有事法制の整備と体系化（2004年）、「中期防衛力整備計画」（2022年）である。

そして今、9条1,2項は残し、じつは「実質自衛隊が必要な自衛の措置をとることは妨げない」として自衛隊を書き込む動きが強まっていることについて注意を喚起された。

アメリカの軍事攻撃へ日本の自衛隊が組み込まれつつある今こそ、九条の力でこれをくいとめるよう、運動を大きくしていかなければとの思いをますます強くした講演であった。

（梶原浩子 もと講談社 記）

《みなさんからの声》

九条守る！

世界の平和を今こそ訴える！

◎ 戦後八十年

佐藤 廣次（もと主婦の友社）

戦後八十年、私達は平和憲法のもと、再度戦争に巻き込まれることなく生きてきた。

しかし今、状況が大きく変わつつあることを感じる。現行憲法が發布された当時のことを知る人は80歳を過ぎ、少なくなっている。若者はもちろんのこと、その親の世代も戦後生まれで戦争の悲惨さを知らない。

そんな中、前回の衆議院選挙では、憲法改定を主張する高市政権が圧勝し、同調する右派政党も躍進した。その結果、憲法九条の改定、国旗損壊罪の制定、国家情報

局の設置、殺傷能力兵器の輸出など、現行憲法の精神を踏みにじる方向に突っ走るという恐ろしい事態になっている。

久しぶりに六法全書を引っ張り出して、あらためて憲法第九条「戦争の放棄、軍備及び交戦権の否認」を読んだ。短い文章の中に、戦争への反省と平和への希求が強く感じられる内容だ。

80年の間に国を取り巻く環境は大きく変わった。私たちの年代が慣れ親しんだ情報伝達の手段としての印刷の文化から電話へ、そして今はインターネット。平和憲法の精神を広く伝え継ぐためには、この新しい情報の世界にも入り込んでいくことがもとめられているのではないか。

◎ 2つの会話から

木下 悦子（もと草土文化）

出版の大先輩・故太田良作さん（主婦の友社）と話したことがある。長崎出身の私は、「アメリカは広島への原爆投下で日本の敗北を決定的にしたのに、殺傷能力の高い2発目を、長崎になぜ落としたのか」と、かねてからの疑問を口にした。彼は明確に、こう言った。「原子爆弾という新兵器を2発持っていたからさ。」

2人の平和運動家の会話に同席したことがある。T氏は被爆者の、S氏は東京大空襲の、一瞬にして命を奪われた人々と、その後の被災者の悲惨な実相を語った。また、かつての日本政府の加害責任についても語りあわれた。命を奪われた人々には家族、子孫がいる。T氏は「東京の電車1車両に被爆者の子孫が2、3人は乗っている」と比喩的に話された。私も、その子孫の1人であることを忘れたことはない。

今、日本政府は殺傷能力のある武器輸出を10か国以上へ可能に

（閣議決定）し、防衛費予算を急増させている。「われらの子孫のために、政府の行為によって再び戦争の戦禍が起こることのないよう」、何としても努力し会話しつづけなければならぬ。

◎ 42・2%に

抱いた危機感

恩田 和美（文京区）

自民党大会で陸上自衛隊の自衛官が国歌を歌った。時事通信の5月の世論調査で、このことを「適切」と答えた人は42.2%だったという。「不適切」は15.9%、「どちらとも言えない、わからない」は42.0%。この国の意識の現在地を数字が示してくれたように思えた。

2015年に安倍元首相の参議院予算委員会での「わが軍」発言があり、自民党と自衛隊の関係においては、2017年に東京都議会議員選挙で自民党の応援演説にて稲田防衛大臣（当時）は「防衛省、自衛隊、防衛大臣、自民党としてもお願いしたい」と述べ、ともに批判を受けた。自衛隊法では

隊員の政治的行為は禁じられており自衛隊の政治的中立性が求められているが、「適切」と答えた人が42.2%もいたことに驚いた。

防衛費の増額、殺傷能力のある武器輸出の制限撤廃、国旗損壊罪、緊急事態条項、スパイ防止法案化への動きと、国の枠組みが大きく変えられようとしている。今後、憲法9条改正へと流れが進み、改憲の国民投票が行われることになると、改憲がどういふことかも知ろうとせず声の大きな意見に流され、その『時』の空気を受けた投票が行われてしまうのではないかと危惧する。

『戦争をする国となった』今、南西諸島の弾薬庫には次々と弾薬が運び込まれ、熊本市陸上自衛隊健軍駐屯地に事前説明がないまま長射程ミサイルが搬入され、京都府精華町と京田辺市にまたがる陸上自衛隊祝園分屯地では大規模な弾薬庫の増設整備工事が進められている。日本の軍事拡大は現時点では点でしか見えてこないが、ある時、面となって現れるのではないかと思う。

今は国のカタチが変わるその瀬

◎ 伝えるつなぐ

植田 誠（もと南江堂）

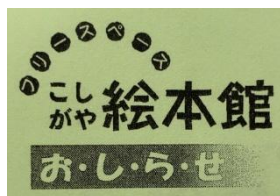
誰しも『こんな時代がくるとは思わなかった』という世の中だが、それでもやるべきこと、やれることは続けなければならないと思う。紙の文化の応援としては、遠出や遊びのしない分、三大紙と日曜版、昨夏発刊された雑誌の購読をしている。

5月25日「第22回越谷九条の会総会」が行われた。初代事務局長を務めた市内の大学教授（残念ながら昨夏他界されたが・・・）が結婚と同時に住み始めた越谷で再会した知人で、当然のように誘われ会員になってしまった。資料では当初1000人の目標が四月で

1040人。定期的な集会や行動。八月の「平和を願う音楽ととうろく流しの夕べ」も20回となった。年毎に家族連れが増え、故郷へ帰省できない人の貴重な祈りの刻にも重なっているようだ。

そして、6月7日、「第11回さよなら原発越谷連絡会」の総会も無事終了。定年前からいろんな仲間といっしょに活動できたことは大きな思い出であり、さらに先輩後輩たちにより続いていることが未来を感じさせてくれる。

設立に関わった連れ合いたちの「フリースペース」も27周年に向かっている。「平和であってこそその福祉・文化」を念頭に『可視化』するため絵本棚、ギャラリー、教室、催し、コミュニティカフェなど多彩に活動している。NPO団体として大変さもありながら、一杯のコーヒー、片づけながらもおしゃれの一品の購入、不思議なご縁など、幅広い年代に支えられていくという。私も



7月13日～7月28日
「平和を伝える絵本展」

散歩がてら掃除、戸締り、ゴミ出しのボランティアをしている。しつかり食べてまだまだ自活したいと思う。50年前の結婚式に義父が抱えてきたブドウ棚が青々と生命を放っている。いつでもどこでも皆んな幸せでありたい。

◎ はじめて見た！

一人街宣！

張替 美穂（もと明治図書）

5月のある日、この日は午前と午後二つのサークルだ。午前は「絵本を楽しむ会」、午後は「布で作るハンドメイドの会」。二つとも会場はみずほ台駅をはさんで。

午前の会を終えて丁度昼ごろ、連チャンはしんどいなあと駅の東口から西口へ渡り、階段を降りると、そこに黒い服に黒マスクの若者が一人、ポップな色文字の黒い看板を立てかけて黙って立っていた。飲み屋の兄ちゃんの宣伝かあとチラッと横目で。と!! ポップな看板には「憲法」の文字が。ヌヌッ！見ると「憲法変えるの反対」「憲法守れ」。(びっくりしてそれくらいしか覚えてない) 思わず、

私ニツコリ、指でしつかりOKサインでエール。その若者が「ありがとうございましたあ。元気出ましたあ！」としつかりした声で応えてくれた。

◎ 横浜と磯子の

最近の活動

浅木 ミツ子（もと岩波書店）

2026年6月15日記

・5月9日 根岸線沿線九条の会で、「米軍が最も恐れた男カメジロ」や「太陽（ティダ）の運命」などを映画監督として制作された、TBS報道局の佐古忠彦さんの、沖縄の過去と現在を考える講演会
・5月13日 原水爆禁止国民平和大行進に向けての地域での行進と集会

・5月22日 毎月22日に屋外で、核兵器禁止条約に参加することを日本政府に求める署名と憲法改悪に反対する署名行動

・5月24日 横浜母親大会で、「憲法制定80年、今を戦前にさせない」、元文部科学事務次官で現在は現代教育行政研究会の前川喜平さんの講演

・5月29日 憲法改悪反対・国会行動への連帯行動としての磯子集会

・6月13日 磯子区九条の会で、「九条と平和を考えるつどい」。講演は、神奈川県平和委員会事務局の菅沼幹夫さん。

・6月14日 「戦争の危機に憲法の光を！ かながわ市民集会」

◎ 6月7日

オール埼玉総行動

荒井 一夫（もと講談社）

6月7日オール埼玉総行動があり北浦和公園に県内から平和を願う人々が4800人も参加しました。いつものように駅前や会場の公園入り口には右翼が宣伝をしていました。彼らの主張は、国民のために行動している「自衛隊」を憲法に書くことがなんで問題なのだと繰り返していた。1年以内に改憲を狙うという高市政権の熱烈な応援団だ。

9条に自衛隊を書き込めば、戦前と同じように武力行使をする軍隊を持つことになり、アメリカの

戦争に自衛隊が参戦していく事になります。

イラン戦争では、トランプ大統領がホルムズ海峡の防衛に自衛隊の派兵を要請してきたが、9条が許しませんでした。

もし9条が変えられていたら高市政権はすずんで自衛隊を派兵していたでしょう。

志木市では、毎月、市内の民主的団体が参加する「戦争させないオール志木」という団体が志木駅と柳瀬川駅交互に宣伝・署名活動を行っています。

9条改憲反対の署名を集めていると、若い方も自ら署名する傾向が生まれています。友人の息子さんは、映画オタクですが、最近、デモにはまっていると母親が驚いて語っていました。

日本のアニメは、一貫して戦争反対の考えが底流にあると言われるています。

日常の大事な趣味が壊されることへの反発はデモの参加で抵抗するというごく当たり前の行動につながっているのでしょうか。テレビで繰り返し報道される戦争の現実とは生易しいものではありません。

この現実を自分の事として受け止めれば、日本でも戦争になってほしくないと思うのは当然のことです。

◎ 「慰霊の日」

勝見 亮助（もと雑誌協会）

今年も「慰霊の日」（6月23日）がやってきた。沖縄では米軍による地上戦で20万人以上が犠牲になった。そして沖縄の本土復帰から54年。今でも米軍基地を巡る反対運動が続いている。第二次大戦では本土防衛の「捨て石」となり、その後も27年間にわたりアメリカ世（米軍統治下）で、本土と切り離された「国策」という名の下で、日米安保政策の「要」であり続け、いつも政策の具としての歴史を刻んできた。だからこそ基地のない平和な島を願う。

米軍基地は国土面積の0.6%しかない沖縄に70%以上が集中。過重な基地負担とリスクは現在でも変わらない。その上、南西諸島の自衛隊のミサイル配備によって、明らかに軍事拠点化が進んでいる。

戦争放棄と戦力の不保持は日本の平和主義の根幹だ。にもかかわらず沖縄の基地問題は、その憲法の理念と現実の安全保障政策が鋭く衝突し、日米軍事同盟の代償を沖縄に集中させている。

今の政治家は、ひめゆり資料館について歴史の書き換えだと公然に事実を歪める。我が国の首相が就任早々、トランプ米大統領に機嫌を取るように横須賀基地の原子力空母でルンルン気分飛び跳ねる。コンサートではあるまいし、こんな光景をみるともう滑稽で呆れてしまう。

かつての政治家は、沖縄に心を寄り添い、沖縄の歴史を意識しながら課題に取り組んできた。小渕恵三、中山貞則、野中広務、河野洋平各氏だが、小泉政権以来そうした基地問題を真面目に取り組もうとする政治家はほとんどいない。そんな中で、辺野古沖で平和学習の高校生を乗せた船が転覆し2人が死亡する悲惨な事故に文科省は、政治活動を禁じる教育基本法に違反すると原因究明どころか平和学習を批判する。そうした委縮はすでに始まっている。そうでなくと

も今の文科大臣は数か月前にスキヤンダルで告発され、謝罪した。『人づくりと国づくり』と言っていたが笑止だ。

いま、沖縄は9月13日の県知事選が注目され、基地問題が焦点になる。政策論争の裏で反基地運動への威圧も出ているが、沖縄の「負担」とは、単なる基地の存在だけではなく、歴史的経緯の欠如と政治的、政策の無力感による不公平な現実がある。



7月3日参加 140名(出版 OB3名)
写真提供：商社九条の会

2015年から始まった「3の日行動」は、各自が「憲法9条を守ろう」「戦争反対」など思い思いのプラカードを掲げてスタンディング。毎月3日13時に国会正門前行われる。誰でも参加できます。

《本》 今こそ読みたい憲法の本です

日本国憲法 長谷部恭男解説



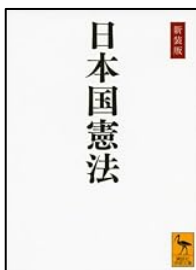
岩波文庫

定価 780 円

(税別)

戦後日本の憲法体制を理解するのに欠かせない基本文書を集め、解説を付した一冊。

日本国憲法



講談社学術文庫

定価 400 円

(税別)

日本国憲法、大日本帝国憲法、教育基本法、児童憲章、英訳日本国憲法、日米安全保障条約。

日本国憲法



小学館

定価 900 円

(税別)

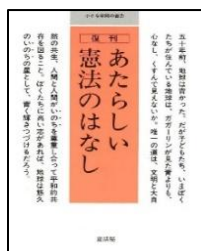
1982 年の初版から累計 115 万部のロングセラー。英文の日本国憲法も掲載しています。

復刊 あたらしい憲法のはなし

童話屋

定価 450 円(税別)

憲法は、1946 年に公布されました。翌年文部省が作った社会科の教材がこの本です。



井上ひさしの

子どもにつたえる日本国憲法

講談社

定価 952 円(税別)

小学生にも憲法前文と九条が読めるようにやさしく書かれています。すべての人の胸に深く響く名文です。いわさきちひろさんの絵もすばらしい。ぜひぜひお手に取ってください。

100 年先の憲法へ 太田啓子

『虎に翼』が教えてくれたこと

太郎次郎社エディタス 定価 1400 円(税別)

あの朝ドラを読み解けば憲法がわかる? NHK ドラマ『虎に翼』を題材に憲法をレクチャー。

改憲問題 Q & A

大江京子・南典男・永山茂樹 編著

地平社ブックレット 定価 800 円(税別)

第一線で活躍する 18 人の憲法学者が 28 問の疑問に答えています。憲法を守り、戦争をストップするための指針に満ちた頼もしいブックレット。

時代に挑む日本国憲法 小沢隆一

新日本出版社

定価 1900 円(税別)

今の日本と世界の情勢の中でこそ、九条は輝いている! 憲法の力を見つめ直した最新の論考集です。改憲策動を押し返す力はこちらにあります。

高市政権の改憲策動に抗して

九条の会ブックレット

頒価 600 円

1 月に九条の会事務局主催で開催された学習会での渡辺治さんと小沢隆一さんの報告の記録。

ドラえもん社会ワールド 憲法って何だろう

小学館

定価 990 円(税別)

小中学生向けの本ですがシニアにもお勧めです!

憲法九条と幣原喜重郎 笠原十九司

日本国憲法憲法の原点の解明

大月書店

定価 3200 円(税別)

軟弱・売国と批判された「幣原外交」にみる平和思想。幣原・マッカーサー会談が秘密とされた特殊事情。幣原が九条発案者であると証明した。

「日本国憲法」を読み直す 井上ひさし・樋口陽一

岩波現代文庫

定価 1170 円(税別)

本書は講談社から刊行され、講談社文庫版がある。これを底本に、樋口陽一氏の論考が加えられている。講談社の雑誌『現代』の対談が本書の成り立ちだということを今回初めて知った。良書であることはもちろんだが、本書の誕生の経過に感慨無量。「やっているか!」という先輩の叱咤激励の声が聞こえてくるようです。

●次号でも憲法の本を紹介します
もと講談社 村田安弘